



沖縄キリスト教センター通信

ぎのわんセミナーハウス

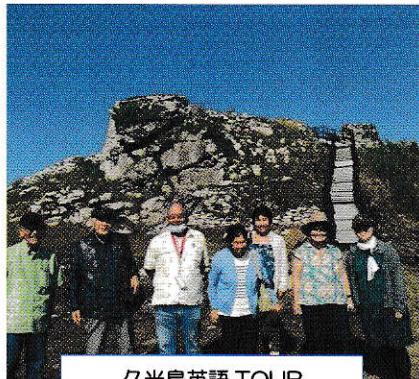
〒901-2213 沖縄県宜野湾市志真志4-24-7 沖縄キリスト教センター

TEL 098-898-4361 FAX 098-897-6963

E-mail: ginowanseminarhouse@gmail.com blog: seminarhouse.ti-da.net



タイムカプセル開封式



久米島英語 TOUR



韓国の家庭料理

「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」 ルカ福音書1章28節b



島 しづ子
プログラム委員・
うふざと伝道所牧師

私がぎのわんセミナーハウスのプログラム委員になった時はコロナ禍でした。活動は制限され、経営上の心配も増える中、センター関係者が工夫しながら運営努力していました。

最近のセンターの活動は活気を帯びています。喜ばしい状況ですが、センター関係者はプログラムの立案、実施、沖縄教区の業務受託など多様な仕事を引き受け、実施していますから、その後ろ姿を祈りながら見つめています。

この原稿を書くために過去の記録を読み直しました。センターは設立以来経営や運営の課題を負いながら40年を迎えました。センターの使命は今後も変わることなく果たしていくことでしょう。センターの歴史は鎖のように続いており、その時その時に鎖を繋ぐ役目をした方々がいたことを思います。お名前を挙げることはしませんが、センターの歴史の鎖の役目を果してきてくださった方々のお働きに感謝いたします。そして現在その鎖の一つを結ぼうとしている方々、それを見守ってくださる方々に主の祝福を祈ります。

今年もあっという間にクリスマスと新しい年も迎えてしまうことでしょう。そんな焦燥感の中でイエスの母マリアの姿を思い起します。馬小屋でイエスを産むマリア、やがて十字架で死んでいくマリアの息子イエス。このマリアに天使ガブリエルが言いました。「おめでとう、恵まれた方。」マリアは貧しい馬小屋でイエスを産まるを得なかったこと、イエスの十字架の下で、ガブリエルの預言は間違っていたと思ったでしょうか。「神様、約束が違います。私の息子は誰よりも祝福されたはずではありませんか？」

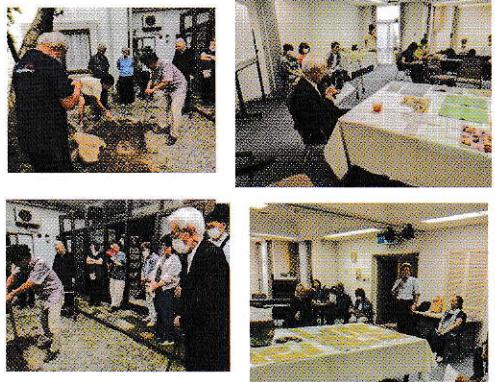
ガブリエルの言葉は「主があなたと共におられる。」と続けられています。喧噪に明け暮れる私たちのただなかにイエスは来られ、世の迫害の只中をマリア親子は生きました。それぞれの環境がいかに厳しくても「主があなたと共におられる。」そのことのゆえに元気を出して歩き出しましょう。これからも沖縄キリスト教センターぎのわんセミナーハウスの歴史の鎖をご一緒にないでください。



2025年度 プログラム活動報告



タイムカプセル 1996年3月3日埋蔵 → 2025年8月3日開封式



沖縄が少女の悲しみを自分の事として、基地がある故に起きたことへの猛烈な抗議が続く中、10年目を迎えた沖縄キリスト教センターは「21世紀の希望」を託す「タイムカプセル」を1996年3月3日に埋蔵しました。それから30年の時を経て8月3日(日)に当時の平良修運営委員長、妹尾正和主事等関係者を招き開封式を行いました。地中からタイムカプセルをとりだし、中の手紙や資料にふれ、当時を懐かしみ、今と変わらないことと変化してきた事に思いを寄せる時を持ちました。



ちゅら水を求めて歩こう！～PFAS汚染を考える～

4月14日(月)

2020年、普天間基地の泡消火剤大量漏出事故でPFAS汚染が明るみに出された。米軍基地周辺の湧水や北谷浄水場の取水源の汚染状況に市民の側から声をあげ、人体に及ぼす影響や調査などの活動をしている宜野湾ちゅら水会の方々に嘉数高台～大山のターンム畑～チュンナーガー(喜友名泉)を案内していただきました。宜野湾の地形、豊かな水を利用してきました歴史なども交え、環境汚染の問題と共に考えました。



自然農法でターンム、蓮根を栽培していたがPFAS汚染で作れなくなり、今は議員として活動中の宮城さん。



喜友名んちゅにとって、チュンナーガーは聖域であり、若水を汲むなど生活の場でしたと語る吳屋さん。



～歩いて学ぶ沖縄戦～ 4月26日《恩納村・北部の戦争》講師：瀬戸隆博さん

5月19日《一中学徒隊の足跡をたどる》講師：大田光さん

今回はまずじっくり座学。恩納村史編さんをされている瀬戸隆博さんが、多くの資料をパワーポイントで分かりやすく丁寧にお話してくださいました。参加者4名でしたが、現在の自分、子どもたちへのバトンタッチにつながる貴重な学びとなり、沖縄戦を住民の証言をもとにその地域から見直すことで、より深く広く考えることとなりました。感謝



摩文仁平和祈念公園
学徒の写真を手に

証言者への聞き取りを継いだ大田さんの思いや願いの言葉に、参加者6名が度々吸い込まれました。各所で学徒や家族の当時やこれまで、今も負っている気持ちを「ことばで表しきれない」と一瞬、体ごと固まつた様子の大田さん。聞いている私たちそれが、あらためて覚え問われる帰路に。今日の学びが平和への道の途上にありますように。祈り



秋の山歩き：9月30日伊部岳 ☀ 10月14日デーサンダームイ&本部富士

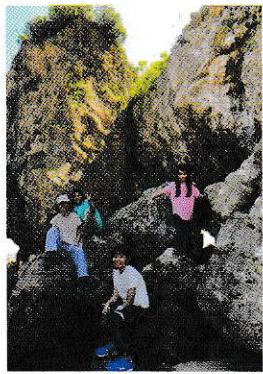
国頭村伊部岳 参加者8名
やっとやんばるの山へ、とにかく皆で完歩できほっ。ひとりひとり自分のペースで一歩ずつ、声かけながら。。。ウラジロガシは「また今度ね」。

大自然は厳しいけれど全て抱き、命の息でリフレッシュしてくれました。お疲れ様。



ガイドの妹尾正和さん、みなさん、どんなときも、ありがとうございます。

本部円錐カルスト参加者6名。
桑の実、シークワーサーに元気をもらい、岩道歩きの渋顔が山頂では笑みに。「今日は、私の誕生日なんですよ」8歳の嬉しい告白にみんなでHappy birthday♪「いらっしゃよ歩く仲間が出来て嬉しいです。」このプログラムが出会い分かれ合いの場に。感謝。



こども冒険工コクラブでは今帰仁村のキャンプ場で夏のキャンプ、恩納村県民の森、読谷村や具志頭の海やその他、県内各地で自然体験を行いました。自分たちでの食事作り、火起こしをして野外炊飯でおいしい食事を作る事もできました。今回はスッパイマン工場見学もしました。月に一度、自然の豊かさを感じ、また年齢や学校も違う仲間達と一緒に笑顔あふれる時間を過ごしました。元気いっぱいの子ども達です。



【沖縄キリスト教センター創立40周年企画】

5月18日（日）

永山哲男ピアノトリオ&桑江律子～『愛の歌』心を結ぶ音楽～



40周年企画第1弾は、長年センター主催のコンサートにご協力をいただいているお二方の夢のコラボ。演奏曲は歌曲、宗教曲、オペラの曲などクラシックの名曲を永山哲男さんがピアノトリオ&ソプラノにアレンジして下さいました。顔合わせの際、桑江さんの声を聴いて、曲のリクエストをされた永山さん。それに応えた桑江さんの豊かな音楽性溢れた歌声とピアノトリオの演奏は、この日駆けつけたみなさん的心を惹きつけました。演奏者と聴衆の心を結ぶ『愛の歌』は確かにみなさんへの贈り物となったようです。心から感謝いたします。

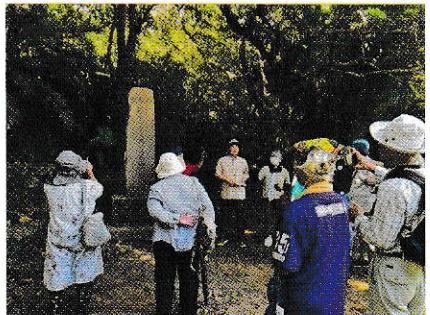


【創立40周年企画】

8月13日（水）

伊佐眞一と学ぶ 伊波普猷～フィールドワークと座学～

8月13日は伊波普猷の命日で、「物外忌」と言われています。普猷について研究し、批判論で賞を受けた伊佐眞一さんの案内で浦添城址内にある普猷の墓や第一尚氏王統の墓「ようどれ」に残る琉球語の石碑等を見学。普猷の墓は1960年代の「復帰運動」盛んな時に建立された事を知りました。座学では「伊波普猷にとっての自立と沖縄學～琉球語・経済力・女性～」のテーマで琉球近現代史における普猷の存在。総合学としての「沖縄学」、家族関係と普猷の経済力、再上京し大正末から晩年までの国家依存の自立論や琉球諸語の独自性より万葉集等を駆使し「日流同祖論」実証する大転換の普猷の研究があり、その批判の必要性を、そして琉球の主体性と自己決定権の回復を求めて行きたいと語っていました。



【創立40周年企画】 沖縄戦体験者の語り合いへの寄り添い 10月4日（土）

～心理・社会的要因を巡って～ 吉川麻衣子さん（沖縄大学教授）講演



沖縄戦体験者が自らの体験を語ることが出来るまでに60年の時が必要でしたと語る体験者に寄り添い、20年続いた「語り合いの場」の取り組みをお聞きしました。沖縄戦の記録は沖縄県史や市町村史から字史、個人史まで多くの記録がありますが、自らの心の声に向き合い、仲間と共有することによって、抱えていた心の傷を癒され、家族や隣人関係も再構築されていく過程は、人間の心の宝物としての普遍的思想性を私たちに示してくださいました。会場からは沖縄戦の被害者としてどう発信していくかが今後の沖縄の平和への歩みの上で大切な視点ではないかという声もありました。



1月～3月のプログラム案内

これからのプログラムです。ご参加ください！

1月

- 旧約聖書に登場する女性たち
～ホセアの妻ゴメルの物語～
日時：1月9日(金)10時～11時半
- 英語で学ぶ琉球の歴史と文化
日時：1月10日～2月21日(土)
9時～10時半（5回コース）
- しののめケアハウス
チャリティーコンサート
日時：1月17日(土)14時開演
- “Guía de turismo en español”
スペイン語通訳ガイド入門
日時：1月21日(水)17時～18時半
- おとなためのみかん狩りと八重岳
日時：1月28日(水)9時半～16時

2月

- 野外プログラム～初春の山～
辺戸：安須森（アスムイ）
日時：2月2日(月)9時～17時
- タイ料理～ランチ会～
日時：2月18日(水)13時～16時
- 歌声カフェ
日時：2月19日(木)14時～15時半
- センター40周年記念礼拝・祝会
日時：2月22日(日)15時～18時
- 琉球語讃美歌を歌う
日時：2月6日～3月20日(金)
17時～18時半（4回コース）

3月

- 『石』からみた首里の文化財
日時：3月5日(木)13時～16時
- 大人のためのお楽しみ会
日時：3月8日(日)15時～18時
- 古賀敦子フルートコンサート
日時：3月13日(金)19時～20時半
- Ryukyuan History & Culture in English
“Tour”（英語でツアー）
日時：3月14日(土)10時～13時半
- 冬のキャンプ～子ども冒険エコクラブ
日時：3月20日(金)～21日(土)
- リードオルガン講座 Vol. 13
日時：3月22日(日)15時～17時

沖縄キリスト教センター運営委員会報告

宇佐美節子（委員長）の残任期1年を国吉和雄委員長が（西原教会・財務部）が担っていただき、1名の欠員に花城静子牧師が加わり8名の委員がそろいました。今年度は3、4階のWi-Fiの設置と、5階の資料室・会議室の設備工事。40周年企画のプログラムに取り組んでいます。5月には「愛の歌・心を結ぶ音楽-永山哲男ピアノトリオと桑江律子のコンサート、8月タイムカプセル開封式、伊佐真一と学ぶ伊波普猷のフィールドワークと座学。10月に戦争体験者の語り合いに寄り添いを20年近く取り組んでいる吉川麻衣子さん講演、宣教師として沖縄キリスト教センターに住まわれ、奉仕してくださったグレイ恵子さんを迎えて「証と踊りのミニストリー（奉仕活動）」に取り組みました。

主に定礎の言葉について、40周年記念版の作成等審議を重ね、聖書の言葉の変遷を確認し、変更は行わない事としました。40周年記念行事としてクリスマス献金で活動車購入をし、2026年2月22日は開館40周年の記念行事として礼拝・祝会、タイムカプセル埋設式を行い、小冊子を発行する予定です。

プログラム委員会報告

2025年度は、運営委員会から望月智委員が新たに加わり、委員4名、職員4名でプログラム諸活動の企画、実施しています。センター設立40周年企画のプログラムを運営委員会と共に担うことで、設立当初センターに関わった方や沖縄教区の方々のプログラム参加もあり、今後のプログラム活動の展開を考える良い機会となっております。

クリスマス献金のお願い ～活動車購入のために～

今年度のクリスマス献金は諸活動の足であるセンター車の買い替えのために取り組みます。センター車も15年利用しており、安全走行の為に新車に取り換え時期となっています。

40周年記念活動車購入のためにクリスマス献金にご協力を願っています。

振込先 ゆうちょ銀行 02040-2-44103
名 義 沖縄ぎのわんセミナーハウス

☆しののめケアハウス運営委員会報告☆

2025年度は一時避難から保証人がいない方や若年等の理由で退所できず、ステップハウスシオンの家利用者が5名おり、一時避難の受け入れが困難になっています。今年の利用実績は10月末で6件。同伴者2件にとどまっています。6月関係者交流会、10月研修会を開催しました。2026年1月17(土)午後2時から沖縄キリスト教学院チャペルにて資金造成事業のチャリティーコンサートを計画しています。